

別紙

審査項目	審査項目の要点	取組の分類別採点基準表		
		① 家庭や事業所等の脱炭素化を進める活動・取組 (建物等の脱炭素化改修、再エネ設備の導入、次世代自動車の購入 等)	② 脱炭素化を進める商品・サービス等に関する活動・取組 (脱炭素商品の開発・販売、新しいサービスの展開 等)	③ 普及・啓発活動、環境保護活動 (イベントの開催、環境に関する講座の実施 等)
脱炭素効果	取組内容によって、CO2排出量が直接的又は間接的に削減されている・削減が期待できること。 又は地域の脱炭素化の普及・啓発を後押しする活動であること。	・CO2排出量の削減量が多い、削減率が高い(見込み含む)ほど高く評価する。	・商品を購入すること、サービスを利用することでCO2排出量の削減につながるものほど高く評価する。 ・商品を製造する際のCO2排出量を削減したのも評価する。	・開催目的における脱炭素の比重が大きいほど高く評価する。 ・イベント規模が大きい、参加者が多いほど高く評価する。
先進性	取組内容が全国的又は地域的に見ても先進的なものであること。	・新しい技術、発想を用いているほど高く評価する。 ・いち早く取組を始めているほど高く評価する。	・新しい技術、発想を用いているほど高く評価する。 ・いち早く取組を始めているほど高く評価する。	・新しい技術、発想を用いているほど高く評価する。 ・いち早く取組を始めているほど高く評価する。
汎用性	取組内容が町内外の他の事業所やコミュニティ、個人でも取り入れやすいものであること。	・技術的に取り入れやすいほど高く評価する。 ・有資格者の確保が不要等、制度的な課題が少ないほど高く評価する。 ・イニシャルコストが安いほど高く評価する。	・技術的に取り入れやすいもの、互換性が高いものほど高く評価する。 ・商品単価やサービス料が安いほど高く評価する。 ・時期を選ばず使うことのできる商品・サービスほど高く評価する。	・特別な技術や資格が不要であるほど高く評価する。 ・特別な設備や場所が不要であるほど高く評価する。 ・日常生活に取り入れやすいものほど高く評価する。
町外への波及効果	取組・活動が応募者単体で完結せず、町外の他の事業所やコミュニティ、個人にも波及効果のある取組内容であること。	・町外の事業所、関連企業等においても同じ取組を実施している場合は、実施事業所数に応じて高く評価する。 ・町外等に広くPRしているものほど高く評価する。	・商品、サービスの需要が多い(見込み含む)ほど高く評価する。 ・町外等に広くPRしているものほど高く評価する。	・町外においても活動している場合は高く評価する。 ・町外における認知度が高いほど高く評価する。 SNS等のフォロワー数なども考慮する
持続性	取組内容により、今後も持続的な脱炭素効果が期待できること。	・設備等について、耐用年数が長いもの、ランニングコストが安いものほど高く評価する。	・使用可能期間、耐用年数が長いものほど高く評価する。	・定期的に開催、実施できるものほど高く評価する。
地域・町民への裨益	今回の取組が地域・町民への裨益があること。 なお、その裨益が直接的・間接的であるかは問わないものとする。	・町内事業者を活用している場合は高く評価する。	・新たな雇用の創出につながっているほど高く評価する。 ・地域、町民の生活の質の向上につながっているほど高く評価する。	・町民や町内事業者と連携し、地域に根付いた取組・活動であるほど高く評価する。